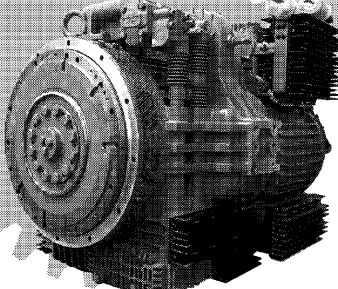
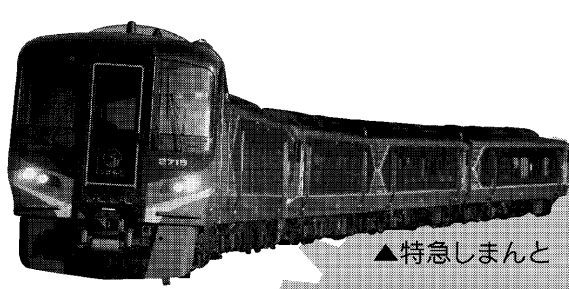




環境にやさしいトランスミッションで地球環境に貢献



◀四国を中心に活躍する2700系気動車(特急しまんと他)に搭載の当社トランスミッション



▲特急しまんと

株式会社日立ニコトランスミッション

〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町一丁目405番地3 TEL: 048-652-6969 URL: <https://www.hitachi-nico.jp/>
お問い合わせは、営業本部: TEL. 048-652-7979 / 大阪: TEL. 06-6350-5525 / 福岡: TEL. 092-414-9220 / 札幌: TEL. 011-221-6165

(JR四国承認済)

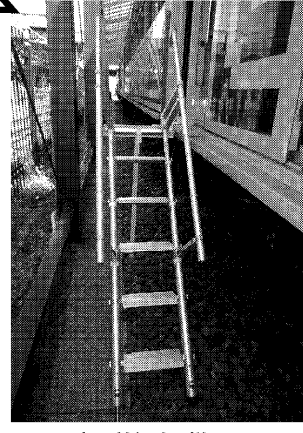
鉄道車両用 非常脱出梯子

標準仕様



軽量: 梯子全体: 14kg
梯子部: 10kg
渡り板: 4kg

鉄道車両設計

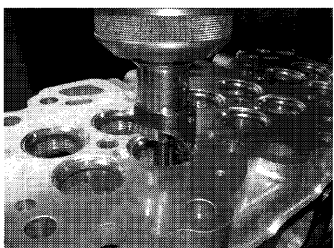
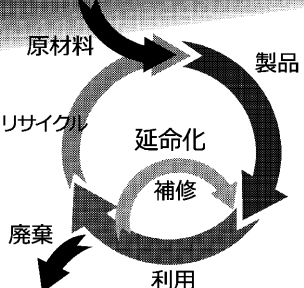


車両並行降り梯子

株式会社 テクノエース office@technoace.co.jp 〒652-0881 神戸市兵庫区松原通4-4-21 Tel.078-652-7385 Fax.078-652-7386

Technoace

溶射・溶接技術を使った産業機械の復元と機能性向上の取り組み



当社は、①溶射による表面改質部材の提供、②溶射、溶接、機械加工およびそれらによるリバースエンジニアリングを用いて産業機械、内燃機の修理、再生、③お客様とそれらの共同技術開発、商品開発も行っています。

光栄テクノシステム株式会社 ISO 9001 認証取得
本社工場 〒813-0062 福岡県福岡市東区松島6丁目15-30
Tel.092-611-6825/Fax.092-621-1183 日立工場 / 東京営業所
<https://www.koei-ts.co.jp> e-mail:koei-info@koei-ts.co.jp



モーダルシフトの推進に貢献する「EH500形電気機関車」(JR貨物提供)

国交省によると23年度の日本のCO₂排出量は9億8900万トン、不足の解消にも貢献する。24年4月に働き方改革関連法の適用拡大によりドライバーの19・2%を占めており、そのうち貨物自動車は7283万トンを排出している。

物流の貨物輸送手段をトラック輸送から、より環境負荷の小さい鉄道や海運に転換することを「モーダルシフト」という。鉄道コンテナ輸送は営業用トラックに比べてCO₂を約11分の1しか排出しない。そのため環境に与える負荷を軽減し、カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量を実質ゼロ)を実現するために重要な取り組みの一つとなっている。

また、貨物列車一本で大型トラック65台分の距離輸送では物流コストの削減も期待でき

鉄道技術展

11月26日
幕張メッセ

鉄道・交通システムや車両、旅客サービスなど鉄道分野に関わるあらゆる技術が集まる「第9回鉄道技術展2025」が11月26日から29日まで4日間、千葉市美浜区の幕張メッセで開かれる。主催は産経新聞社。開場時間は10時から17時まで(29日は16時まで)。入場料は2000円(招待券持参者・事前登録者は無料)。

鉄道輸送でCO₂11

現在、JR貨物と全通運連盟は「鉄道コンテナ利用キャンペーン2025」を実施している。キャッチフレーズは「レールがつなぐ地球の未来、やさしく便利な鉄道コンテナ輸送」。全国の展示会で鉄道コンテナ輸送の時代には決して体験できない仕組みやメリットを紹介するなど、鉄道コンテナ輸送のさらなる認知度向上と利用促進を目指す。

JR東海とJR西日本は、これまで電気設備や軌道設備の定期的な検測を新幹線電気軌道総合試験車(通称ドクターイエロー)を使用していたが、5月から運用を開始し、05年に登場したT4と交互に走行して東海道・山陽新幹線(東京・博多駅間)の安全・安定輸送確保のために検測を行っている。なお、T5については引退する27年までは10日に1回のペースで引き続き走行する。また、T4に搭載していた検測機器を予備機として残し、T5の運用を補完する。T5引退以降の後継車はなく、現在同車両で行っている検査はN700Sに導入される営業車検測機能により代替される予定。

引退したT4の先頭車にあたる7号車は名古屋市港区の「リニア・鉄道館」に搬入され、6月14日から常設展示されている。現役で鉄道コンテナ輸送の時代には決して体験できない仕組みやメリットを紹介するなど、鉄道コンテナ輸送のさらなる認知度向上と利用促進を目指す。

引退T4 ドクターイエロー

幸せの黄色い新幹線
名古屋で展示



絶大な人気を誇る検査車両「ドクターイエロー」

Biz-Nova

ビスノヴァ

日刊工業新聞社が運営するBtoB向け情報サイト

モノづくりを中心にコア、ニッチな分野まで幅広く網羅

ポイント1 業種や地域にフォーカスした最新動向と関連製品の情報収集に役立ちます

ポイント2 今まで紙面でしか読めなかった日刊工業新聞の特集をWEBで無料で閲覧できます

まずははめてみる / Biz-Nova <https://biznova.nikkan.co.jp>

日刊工業新聞社 「Biz-Nova」事務局
TEL: 03-5644-7096 (受付時間: 平日10:00~17:00) Mail: biznova@nikkan.tech

在姿床下型車輪旋盤

列車を線路でそのまま作業ピットへ。

コンピュータによる数値制御(CNC)を用い、高度に自動化された電子計測と制御システムで、車輪削正を行います。

CNCソフトの指示により経験の浅い作業でも熟練者と同じ手順で作成作業をすることができ、また、摩耗測定システムによって、最少切込量が自動的に設定され、車輪の寿命も延長されます。

新規製作事業者

ASA YAMA 株式会社アサヤマ
代表取締役社長 浅川 雅夫
本社 / 東京都品川区東五反田5-23-1 アサヤマビル 〒141-0022
TEL 03-3443-6191(代) FAX 03-3443-6129
E-mail head@asayama.co.jp / URL <http://www.kk-asayama.jp>

製作協力事業者

株式会社スギヤマメカトロ
代表取締役社長 浅野 博幸
本社工場 / 岐阜県本巣市数屋1053番地の12 〒501-0414
TEL 058-323-3600 FAX 058-323-3641
E-mail eigyou@sugi-mecha.co.jp / URL sugi-mecha.co.jp